

ゆめ通信



◎いただきます!!

クッキングレシピ集 発刊間近!

松本山雅
も
協力!

今年も開催します!
あるぷすタウン



1

◎いただきます!! プロジェクトが
松本市と連携してレシピ集を出版予定です

食べられる部位を捨ててしまう「食品ロス」を減らすための
「もったいないクッキング」がテーマです

発行: 松本市 協力: ◎いただきます!! プロジェクト

2~3

梓乃森祭でたくさんの感動がありました

4

学生チャレンジプロジェクトは今
Information

考房『ゆめ』は社会貢
献活動を行う学生を
支援しています。
地域の方からの「お
願い」を松大生とと
もに創造しています!



地域づくり考房『ゆめ』キャラクター こう坊



学校法人松商学園
松本大学

“ゆめ”の由来…結芽「二つの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」
地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に活かしていくことを目指しています。

あすの もり さい
梓乃森祭
『ゆめひろば』
2015.10.17~18

REPORT

第49回となる梓乃森祭は今年も盛り上がりました。各プロジェクトが日ごろの活動を披露するなどの企画を行いました。
今年の特徴は地元や地域、行政、企業など『ゆめ』の活動で連携している学外の皆様とのコラボにあります。
学生プロジェクト担当、協力機関からいただいたレポートをお伝えします。

ええじゃん栄村



●パティシエールとのコラボでカフェ開催

私たちええじゃん栄村は、オーガニック野菜スイーツ専門店「パティスリー ポタジエ」のオーナーシェフである柿沢安郎さん、松本大学の金子ゼミ、廣田ゼミの皆さん等との共同企画として、野菜を使ったスイーツを提供するカフェ「Veg.Sweets」を開きました。そのカフェでは、「パティスリー ポタジエ」のスイーツの他に、私たちが考案した、栄村で採れるトマト・ほおすき・かぼちゃを使ったシフォンケーキを販売し、またホール・キッチンでの接客等も行いました。この日のために、企業組合Vif穂高（食材提供）、あづみ野菜子工房彩果（シフォンケーキ制作）のご協力をいただきました。
私はホールでの接客を担当しましたが、アルバイトの経験がなかったためなれない点が多く、とても不安でした。しかし、来ていただいたお客様の笑顔を見るにつれて不安が無くなり、私自身も笑顔で楽しく接客することができました。
「Veg.Sweets」のケーキは全種類完売し、売り上げの一部を寄付することができました。
今回の企画を通して、自分たちで考案したものが形になる嬉しさ、人と接することの楽しさなどを改めて感じることができました。そこで感じたもの、学んだものを来年度の活動に生かしていきたいです。

人間健康学部 健康栄養学科1年 林 沙奈

こどもあそび隊



●あるぶちゃんと考えよう!ごはんはたいせつ

こどもあそび隊は、梓乃森祭1日目の13時から1時間、「みんなで減らそう食品ロス～あるぶちゃんと考えよう!ごはんはたいせつ～」というテーマのもと、こども広場を開催しました。今回は松本市環境政策課の方が全面的に協力、サポートしてくださったおかげで、当日の活動の成功につながったと思います。
当日参加してくれたお子さんの年齢層は1歳から小学2年生くらいまでと幅広く、直前にあるぶちゃんが歩いて宣伝しただけでしたが、多くの親子が参加してくださいました!
松本市環境政策課の制作による食品ロスについての紙芝居を読み、身近な食事、食材について考えてもらえるようなクイズを4問出しました。お子さんたちも「こっちー!」と元気に参加してくれていました。そしてビンゴを行いました。スタッフやあるぶちゃんと触れ合いながら、けんけんば、ハイタッチ5回、あっちむいてほい、など、5個の項目をクリアしたら成功!というオリジナルのものです。予想以上に盛り上がり、スタッフ一同とても嬉しかったです!プロジェクトとしても初めてのことが多く、とてもいい経験になりました。

松商短期大学部2年 中島 ひかる

◎いただきます!!



●野菜まるごといただきます 人気の豚汁

◎いただきます!!は松本市と協働し、食品ロス事業に取り組んでいます。今回は食品ロス事業に基づき、梓乃森祭で豚汁を販売しました。
豚汁には豚バラ肉、さつまいも、ニンジン、ごぼう、大根、こんにゃく、長ネギを使用しました。このうち、さつまいも、ニンジン、大根は皮ごと調理しました。具材はごま油で炒めることで食欲をそそる香りが感じられるようにしました。
豚汁は1杯100円で販売し、2日間で200杯売り上げました。お客様からは「レシピを教えてください」、「来年も販売してほしい」などのうれしいお声を聞くことができました。準備が大変であっただけに、このようなお声が聞けたことで達成感を感じました。
人間健康学部 健康栄養学科 2年 庭野 愛永

Sign



●音のない世界を体験してもらう

聴こえないということはどのようなことなのか、耳栓をしてもらい、手話や口話のクイズに答えてもらいました。
五十音を指で表現した手話のような指文字というものがあります。指文字で表現した単語を読み取ってもらうクイズを行いました。単語自体は簡単なものでしたが、指文字を読み取るのは難しく、参加者の方々は苦戦している様子でした。
また、昨年度行った要約筆記の企画を復活させたいと思いました。
総合経営学部 観光ホスピタリティ学科2年 白倉 沙貴

あすの もり さい
梓乃森祭
『ゆめひろば』

第6回 松本大学 地域貢献大賞

学生が行なう地域に根差した研究や実践に対して贈られる梓乃森祭の地域貢献大賞プログラムで『ゆめ』の2つのプロジェクトが発表しました。地域での継続した取り組みに対して評価をいただきました。
●すすき川花火大会プロジェクト エプソンユニオン賞
「富士電機との連携が素晴らしい。参加した市民の多くが愉しめる企画となる事に貢献」
●松本大学キッズスポーツスクール 松本大学同窓会長賞
「参加者が減少し、開催も危ぶまれた時期から工夫と努力を重ねて、今では毎回満杯。こどもの元気を支えています」

「ゆめ」から2つのプロジェクトが受賞



●協力いただいた地域団体の皆様の声●

新村地区マープルの会

代表 矢野一代



昨年までお休み処で手作りの漬け物やお茶をお出ししていたグループの方々が高齢になり接待が出来なくなり公民館の主事さんから「マープルの会」に依頼がありました。会員で都合のつく方で今年は既成の漬け物と麦茶で接待させて頂きましたが、来年は松大に栄養学科があるので学生の皆さんで考案した漬け物などで接待してはいかがでしょうか?
今年は「ちらし寿司」と「おやき」の販売をしましたが、もう少し目立つ所で販売しないと商品の売れ行きが芳しくなかったです。

松本市環境政策課

松本市市民環境部 環境政策課
主事 丸山祐太郎



松本市環境政策課では、食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」を削減する取組みを推進しています。「ゆめ」の学生プロジェクト「◎いただきます!!」と連携して、食品ロスについて考え、野菜をまるごと使ったレシピや残った料理のリメイクレシピを考案しています。今回の大学祭では、食品ロスの概要や「残さず食べよう!30・10(さんまる・いちまる)運動」などを紹介したパネル展示、パンフレット等の配布を行いました。また、ごみ減量に関して、水切りの必要性を伝えるために乾燥させたスィカを展示しました。実物を展示し、来場者の手に取ってもらえるようにしたこと、興味深く見ていただけました。市民への周知につながるたいへん良い機会となりました。

松本市消費者の会 波田地区

代表 織田ふじ子



《不用食器が取り持つ、学生と市民団体の交流》
昨年10月17・18日に松本大学祭「梓乃森祭」に参加しました。当日、9月の初めに松本市波田地区で回収した不用食器の中から選んでいただいた、状態の良い食器を5号館のロビーで「食器の地域内循環です」と来場者に呼び掛け、無料配布を行いました。2日間、不用食器のリユース活動の説明をするなどして、ブースを訪れた多くの来場者と会話を楽しむことが出来ました。配布場所が良かったのか大量に展示した食器も全て来場者に貰っていただき、好評のうちに終了しました。
学生さんもう一生懸命に説明役をこなしており、すばらしい体験になったことと思います。食器の縁で「ゆめ」の学生さんと松本市消費者の会波田地区の会員との交流もでき、中身の濃い活動となりました。

第2コムハウス

施設長 村松功啓



第2コムハウスは、「障がい」のある方が働き、地域社会とつながることをめざした、社会福祉事業所です。私たちは、「障がい」という生きづらさを抱えたとしても、誰もが自分の力・可能性を発揮できる街・地域・社会でありたいと思っています。それは、地域の方々とともにある”ことにほかなりません。今回も、松本大学の学生の方が、私たちの学園祭での販売をお手伝いして下さいました。扱っている農産物の販売に積極的に動いて下さり、随分と助けて頂きました。何より、学生のみなさんが、普段から地域の方とつながっておられる姿が想像できて、私たちもうれしく感じました。老若男女を問わず、障がいの有無にかかわらず、「誰もが安心して暮らせる街」は、こうした交流の積み重ねの上に、少しずつ、しかし確実にできあがっていくものと信じております。

ブロプロ



●子どもの喜ぶ姿に充実感

ブロックリユースプロジェクト「ブロプロ」は梓乃森祭で子どもたちが自由にレゴブロックを使って遊べる広場を作りました。二日間通してたくさん子どもたちに来ていただき、常に子どもたちが絶えないような状況で本当に良かったです。今回はブロックの提供にも力を入れ、子どもたちが自分たちで考えて完成させた作品を希望した子どもたちには無償でプレゼントしました。とても喜んで持ちかえてくださるばかりでメンバーの活動への意識が一層高まったように感じます。また、当日初めてブロプロの活動を知り参加していただいた方も多く活動の周知にもつながりました。
今回の梓乃森祭ではブロプロの活動の参加者にはアンケートへの回答をおねがいし、その結果ブロック以外にも提供できるものがあるという意見を多くいただきました。活動の拡張も視野に入れながら来年度に向けて活動していければとメンバーでも意見交換を行うことになりました。また、ブロックを使って遊べる機会、提供できる機会についてある程度の周期で作ってほしいとの意見もいただきました。
全体を通して今後の活動に生かせる反省や意見を多く得られた有意義な活動ができ、よかったと思います。
総合経営学部 総合経営学科2年 木下 栄作

あるぶすタウン



●盛況の古本市 あるぶすタウンの運営費に

5号館ロビーの「ゆめひろば」で古本市を行いました。古本はバリューブックス社から提供して頂き、この売り上げはあるぶすタウンの運営費用になります。値段は文庫本100円、単行本200円、大型本300円。レシピ本、雑誌、絵本、小説など様々なジャンルの本を販売しました。売れ筋は絵本とレシピ本でした。絵本は子ども連れの方が多く購入され、レシピ本は、男性の先生が奥様にご飯を作ってあげたいと嬉しそうに購入されていた事が印象的でした。
大盛況で終わった古本市ですが、学生でも売ることの難しさや売れた時の嬉しさを実感しました。
あるぶすタウンに参加する子どもたちにも、仕事体験を通して多くの事を感じてもらえるように当日に向けて頑張っています。
人間健康学部 健康栄養学科3年 鍋島 ひかり

松本BBS会



一大イベント、クリスマス会!

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの頭文字をとったもので、非行少年の良き兄や姉のような存在として更生をサポートしているボランティア団体です。日本各地にあり、その1つが松本BBS会です。毎月の定例会・いろいろた集会、そして年に4回ほどの社会参加活動を中心に日々活動しています。

12月には、一大イベントであるクリスマス会を有明高原寮で行いました。学生は各担当にわかれ、1ヶ月前から準備を始めます。レクでは、より楽しめるようにルールも自分たちで考えて構成します。座談会の途中にはサンタさんが曲に合わせて、寮生にクリスマスカードをプレゼントします。その時渡すクリスマスカードの制作や演奏も学生が担当しています。当日のクリスマス会では、寮生からの出し物の発表もありました。寮生も同じようにクリスマス会の為に準備をしてくれていたと思うと、とても嬉しい気持ちになります。

次の活動は、社会参加活動になります。クリスマス会での反省点を生かし、より良いものになりたいと思います。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科3年 吉田 末菜子

Information 考房『ゆめ』 みんなの 掲示板

第2回

あるぷすタウン



子どもたちが創り上げるまち

「あるぷすタウン」は、子どもたちがまちを運営し創り上げていく子どもだけのまちです。

本物の仕事をプロの方に指導していただき、実際の仕事に触れ、給料をもらう、税金を納める、残ったお金は自分のために使う、という社会システムの基本を知ってもらおうという取り組みです。

開催に向けた現在の活動

人間健康学部 健康栄養学科3年 鍋島 ひかり

現在、あるぷすタウン実行委員会は当日の仕事ブースの綿密な企画と参加者募集・高校生スタッフの募集を行っています。

第2回では仕事ブースを充実させることにより、仕事の体験をするとともに、子どもたちが協力し合いながら、まちを創り社会の仕組みを知り、子どもの頃から地域に関心を持つきっかけとなることを目指しています。そのため、子ども市長・議員の意見も取り入れ、仕事ブースは官公庁、商店街、アカデミーなど、約40ブースを企画・出店予定です! 学生が各仕事ブース担当を持ち、専門家の方と打ち合わせを重ね、職業同士

のコラボレーションをして何か仕事ができないか等も話し合い中です。

また、1月8日(金)松本大学にて「あるぷすタウン キックオフセミナー」が行われました。こちらでは、第2回あるぷすタウン開催宣言と昨年度行われた「あるぷすタウン」内「山雅博物館」にて参加者の子どもたちと寄せ書きをしたフラッグを子ども市長が片山ホームタウン担当に渡し「これからも頑張ってください!」とエールを送りました。

1月からは参加者募集・高校生スタッフ募集を開始しています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

- 日 時 2016年2月27日(土)・28日(日)
両日ともに、午前10時～午後4時
- 会 場 松本大学5号館等
- 参 加 小学4年生～中学生 200名程度
2月3日(水)締め切り

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

松本大学 7号館 2F

T E L : 0263-48-7213 (直通)

F A X : 0263-48-7216 (直通)

E-mail : community@matsu.ac.jp

U R L : <http://yume.matsumoto-u.ac.jp/>

※開館日時: 月～金 9:30～18:30

おめでとう!

『ゆめ』の学生スタッフ片瀬さん

信濃育英会 奨学生に採用されて

自分の行ってきた活動が評価されたことをうれしく思います。活動すべてにおいて、プロジェクトの仲間たちや地域の方々に支えられて続けることができました。卒業後も大学時代の経験を活かし、地域活動をさらに広めていきたいと思っています。

人間健康学部 スポーツ健康学科4年 片瀬 咲季

